

「幕末維新时期における情報と思想

—米沢藩士・甘糟継成と宮島誠一郎—

山形県立博物館では年10回の古文書講座を開催しておりますが、古文書の読みだけではなく、歴史全般に関する理解・興味を深めるため、東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門助教の友田昌宏氏をお招きし、山形に関わる人物についてお話しいただくことになりました。

時は幕末維新の動乱期。前後不明瞭な政情のもと、誰もがこの国の将来を案じ、情報を渴望しました。そして、情報は人々が思想を育むうえでの腐葉土となります。ここ山形の米沢藩にも情報の重要性を認識し、やがて政局の表舞台に立つ人物が。上杉謙信配下の勇将として知られる甘糟景継の末裔・甘糟継成と、後に明治新政府に出仕し、立憲政体樹立をいち早く提唱した宮島誠一郎です。彼らを通して、幕末維新において情報がかつ意味、それが個人の思想に与える影響を考えます。

日時：平成28年11月13日（日）13時30分より15時30分まで

講師：友田昌宏氏

（東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門 助教）

会場：山形県立博物館 講堂

対象者：当館古文書講座受講者及び一般成人

参加料・申し込み：ともに不要

*第2回目の古文書歴史講座は

平成29年1月29日(日)に予定しております



当事業は東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門の協力を得て行っております。